

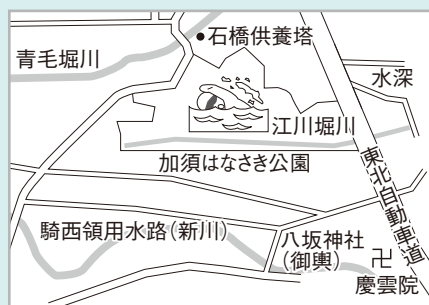
「水深の天王様」

みずぶか てんのうさま

⑧



問合せ
生涯学習課
(☎内線 352)



所在地 水深930

今回ご紹介する文化財は、水深地区にある「御輿」です。

天明3(1783)年の浅間山大噴火の様子を記した水深地内にある石橋供養塔には、大凶作と疫病で村人は困窮を極めていたとあります。

当時の水深村も例外ではなく、村人は、村を治めていた久留里城(現君津市)主黒田直温公に、当地の増田家を通して救済を願い出たところ、地域の守護神として御輿が寄贈されたと言われています。

村人は天明8年7月13日に当地を出発、江戸川の船便等を利用して

久留里城に入り、御輿を拜領、7月19日に帰着したと言われています。

重厚で風格のある御輿は地域の崇敬の的です。また、祭り囃子の太鼓は保存会により大切に伝承され、後継者も育てられています。

古くは、若い衆の掛け声も勇ましく御輿をかつぎましたが、現在は交通事情もあり、渡御車に載せて練り歩くようになりました。

当地は昔から7つの地域が交代で祭りを担当してきましたが、地域の開発が進み、新たに6つの集落が誕生しました。この天王様が地域全体の絆を深める日も遠くないでしょう。



水深の天王様渡御

紹介者 小川 勝信さん(水深)